



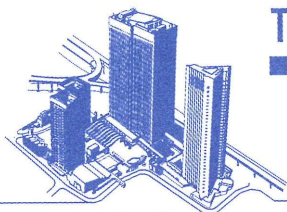
Rotary International

SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度・国際ロータリーテーマ

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

東京新南ロータリークラブ

No.876/2005.08.19

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel /03-3505-5976

Fax /03-3505-6004

E-mail/new-south@h9.dion.ne.jp

http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth

Weekly Report

東京新南ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京新南ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

●本日の例会/2005年8月19日第897回例会

ブッフエスタイル例会のため卓話はありません。

●前回報告/8月5日第896回例会

卓話:「印刷加工から情報加工へ」

大日本印刷株式会社 常務取締役 川田 寿 男 氏

(紹介者 荒木委員)



会長報告:元会員佐藤幸雄様(故人)の令夫人・瑞代様は2005年8月4日ご逝去されました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

お通夜8月6日(土) 18～19時、告別式 8月7日(日)

10～11時、東福寺(西国分寺)で執り行われます。

8月6日のお通夜に小杉会長が弔問に参列致します。

幹事報告:①各委員長には「活動計画書」の初校分をお届けしました。お手数ですが、校正の上8月9日(火)までに事務局へFAXにて返送をお願い致します。

②RI第2560地区より「新潟県中越地震復興支援活動の記録」を頂きました。順次回覧致します。

直前幹事報告:2004～2005年度「活動報告書」をボックスにお配りしました。

会員増強委員会報告:(大日方委員長)

会員増強に取り組むチーム編成表をお配りしました。既にご案内の通り、今年度は会員増強チームを編成して会員増強に取り組むことに致しました。1チームで少なくとも1名増強するという事で、増強に取り組んで頂きたいと思ひます。

よろしくお願い致します。

雑誌委員会報告:(四分一委員長)「ロータリーの友」8月号紹介

①横組P.5 2005年R100周年を祝う国際大会(シカゴ)

②横組P.37「ロータリーの基本」特にP.45「ロータリーの基本(日本編)」は、日本のロータリーの歴史が載っております。是非ご一読をお勧め致します。

③縦組P.2 第2680地区パストガバナー深川純一氏「人を育てる」

④縦組P.7 京都RC堀場雅夫氏「風紋-その人その人生-」も是非ご一読を。

慶事披露:誕生日祝/田村廣治君(8月5日)、藤野輝幸君(8月11日)、ジョン・チャヌ君(8月11日)、谷村義雄君(8月13日)



出席報告:会員52名/出席34名・欠席18名(出席規定免除者5名) ビジター 3名

会員事業所変更のお知らせ/荒木昭文君

(新) 株式会社 アラキエステイト 代表取締役

所在地 渋谷区恵比寿西2-2-6

TEL 03-3780-7000 FAX 03-3780-7002

E-mail araki@ebis5.co.jp

(所在地、TEL・FAX番号、メールアドレス変更ありません。)



8月5日/9件27,000円/本年度累計177,000円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

小倉基(7/29卓話者)/新南ロータリークラブの益々の御繁栄をお祈りしております。**小杉修造**/大日本印刷の川田さん、よろしくお願い致します。**荒木昭文**/川田さん、本日の卓話よろしくお願い致します。**谷村義雄**/誕生日祝有難う存じます。八十三歳ですが頑張ります。**塚田哲夫**/地方出張に参りましたが東京の暑さは一寸違います、道路の照り返しの為でしょうか、皆様ご自愛ください。**橋本年男**/先週海外出張のため欠席しましたがとても気になりました。チットはロータリアンの自覚が出て来たかも? **西澤民夫**/吉田様ご苦労様です。**松永秀和**/いよいよ夏本番、明日から夏休みです! 楽しい夏をすごしましょう。**吉田用親**/関さんようこそ。2年間の会長のお勤めお疲れ様でした。本日ニコニコ担当です。

●次週予告/8月26日第898回例会

◎卓話予定

「美しい歩き方」

(株)エリート 専属モデル 大城とし子さん
関根みもりさん

(紹介者 吉岡会員)

日 時 2005年8月5日(金) 例会後13:40～15:00

場 所 東京全日空ホテル 1F かすみ

出席者 小杉、土屋、早川、入沢、西澤(民)、田村(昭)、吉岡、福島
(順不同・敬称略)

決議事項

1. 欠員の理事(次期会長)に、指名委員会の推薦通り荒木昭文会員を承認。
2. ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会(9/16)次第の骨子を承認。
3. 05みなと区民まつり(10/8～10/10)へ協賛金30,000円の寄付を承認。
4. 少年交換派遣学生[鈴木 孟さん、麻布高校1年生]のカウンセラーに武下 朗会員を選出。
[留学は2006年7月より1年間、留学先は未定]
5. バギオ基金・評議員に早川清隆会員を推薦。
6. フィリピン・プロジェクト(発起クラブ・世田谷RC、恵比寿RC)には参加しないことを承認。
7. 出席規定免除適用の件／田村廣治会員
病氣治療のため同会員の出席規定を、2005年7月1日の例会から当分の間、クラブ細則第11条により免除することを承認。
8. 新会員候補者入会辞退の件／原根俊二氏(原根公認会計士事務所所長)ご本人の申し出を承認。
9. 名称変更に関する件
バナーの文字は漢字表記「東京赤坂」とすることを承認。

報告事項

1. 会長報告／「意義ある業績賞」応募について
2. 幹事報告
 - ①青少年交換来日学生(2006年7月来日)引受け延期依頼の件
 - ②荒木昭文会員の勤務先変更／(株)アラキエステイト
[所在地、電話、FAX、Eメール等変更なし]
 - ③佐藤幸雄様(当クラブチャーターメンバーで1993.12.31退会、その後1994.1.14他界)の令夫人・瑞代様は2005年8月4日ご逝去されました。
お通夜8月6日(土) 18～19時、東福寺(西国分寺)へ小杉会長が弔問に参列、クラブより香典(10,000円)
3. 会計報告(7月末)
4. 国際奉仕委員会報告／地区補助金申請について

国際ロータリー (RI)から「2004年手続要覧」訂正について

「2004年手続要覧」第138ページ「ベネファクターおよび遺贈友の会の認証」の中に誤記がありましたことを、心よりお詫び申し上げます。

誤→「恒久基金に米貨10,000ドル以上の無条件寄付を行った人は、管理委員会からベネファクターとして表彰される」
正→「恒久基金に米貨1,000ドル以上の無条件寄付を行った人は、管理委員会からベネファクターとして表彰される」
となります。

訂正を反映した「2004年手続要覧」は、現在ダウンロードセンターからダウンロードすることができます。

詳細は、RIのホームページ(日本語)

<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/news/0507/mop.html>

または、『友』のホームページをご覧ください。

http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/rotary_news/200507yoran.html

ある倒産事件

自分の所属するゴルフクラブが倒産したとき、会員の弁護士はどうするだろうか。

倒産事件は、一般に弁護士を必要とする。会員は、なす術を知らず、戸惑う。弁護士なら法律問題は何でも知っているだろうと思われて、真先に相談される。

そこで、弁護士の態度である。①徹底的に関わる。②つかず離れず。③面倒なので、なるべく関わらないようにする。②とか③のような行動をとるのは、自分のクラブの事件処理では、費用がとりにくいからである。

私は、①をとった。①をとった場合、さらに態度は3つに分かれる。a 無償で処理。b 割引料金で処理。c 平常の料金を請求。b とか c のような対応があるのは、無償労働は、実際はあまり感謝されず、消耗するからである。a のような対応もあり得るのは、実際、自分のクラブから費用はとりにくいからである。

私の所属するHカントリークラブは、昨年9月、民事再生事件を申立て倒産した。私は、①かつ a の態度をとった。1～2週間に1回程度行くゴルフ場。愛着はあるが入れ込むほどでもない。しかし、何人かの会員に熱心に頼まれた。この段階では、会員は烏合の衆。まず「守る会」をつくった。申立代理人は辣腕の弁護士で、中途半端なことではかなわない。多分Hカントリークラブは、どこかの会社に売られ、1000人ほどの会員は、切り捨てられるであろう。どこでもそういうものである。

私が、①かつ a を選択したのは、負債140億円余りのこの事件を処理するには、何人かの弁護士の協力が必要だが、会員多数の招集には金銭負担は最小限でなくてはならず、苦しい台所で会員の立場ではお金をとれないこと、辣腕弁護士に勝利して自主運営を勝ちとるためには、誰かが捨て身で気迫を示さないと勝てないと思われたことからである。無償でもいいから勝つなら、勝つ方を選んだ。ビジネスとしては失格である。

知り合いの伝手を辿って、3人の弁護士と公認会計士を引き入れ、弁護団を結成。私が無償だからということで、他の4先生の報酬も低額にしてもらった。深謝。

無償でも手は抜けない。40回ほどの長時間の弁護団会議にはすべて出席し、会議のために事務所を提供し、監督員や裁判所と折衝した。スポンサー M社を立てた会社案と自主運営の会員案とが一騎打ちとなってからは、毎日のように対応に追われ、結局、ほとんどの債権者宛文書を作成した。

結果は、当初の予想を覆し、わが会員案が4分の3近くを獲得して圧勝。Hカントリークラブは、会員が自主運営することになった。

得られたものは大きかった。ゴルフ場の倒産事件の仕組みはよく分かったし、クラブにも多くの友人ができた。すばらしい弁護士や公認会計士の先生方とも巡り会った。度重なる債務者宛文書を作成し、文書作成術に新領域を開くことができた。

多くの会員も素直に喜んでくれた。弁護士は人助けの仕事だから、やはり、みんなに喜んでもらえるのはうれしい。ついでに言えば、勝敗にこだわる質なので、辣腕弁護士を撃破したのは痛快であった。そちらは何千万円単位の報酬である。

弁護士のサービスはただか、安く使えるという誤解を生まなかったか、不安もあるが、私としては、これしかなかった。いつもこれでは弁護士は飢え死にする。しかし、特殊な状況下ではこういうこともある。本来、職業奉仕は有償なのだろう。私の職業が、わがゴルフクラブに捧げられたことは、社会への奉仕と言えなくもない。

いずれにしても、みんなのためにはなったであろう。